おかげさま

96号

真宗大谷派
高德寺通信

2021年秋号

印相(いんぞう)ってご存知ですか？

～仏さまのハンドサイン～

←高徳寺の阿弥陀さま

先日、法事を勤めた際に門徒さんから「ご本尊の手の形にはどのような意味があるのでしょうか？」というご質問を頂きましたので、そのことについて触れてみたいと思います。

仏教において、両手の手指を結んで組み合わせた形のことを"印相(いんぞう)"と言います。（略して印とも言う）サンスクリット語では mudrā（ムドラー）と言い、母陀羅(もだら)と音写します。仏(ぶつ)や菩薩(ぼさつ)の内面的意志や悟りの内容、誓願(せいがん)、功徳(くどく)、事業(じごう)（はたらき）を表わしています。本来、仏教においては印相に関する定まった規則はありませんでしたが、密教の発達に伴って相が定まり意味が説かれるようになりました。内容的には、願いであったり、私たちに対する慈悲の心であったり、本当に様々です。また時代や地域によって差異があるので代表的な印を数種類ご紹介します。

代表的な印相

奈良・東大寺の「弥勒仏坐像」がこの形。

《触地印》
降魔印とも呼ばれる。

このバージョンもある。

• お釈迦さまが悟りを開こうとしている時にその修行を邪魔するためにマーラ(悪魔)の軍勢が様々な魔衆を使って誘惑し、妨害しようとしたが、お釈迦さまはマーラの誘惑を退けて、成道、すなわち悟りを開かれた。(降魔成道)

《智拳印》
最高の智慧を表わしている。
大日如来独特の印相。

奈良・東大寺の大仏殿内の「毘盧遮那仏」がこの形。

《施無畏印》
相手のおそれをなくすサイン。

《与願印》
相手の願いを聞き届けようという姿勢を表わしている。

「釋迦如来」や「阿弥陀如来坐像」がこの形。

《説法印》
又は、《転法輪印》
お釋迦さまが説法したときのポーズ

《法界定印》
深い瞑想に入られている姿。
大日如来や釋迦如来坐像に多く見られる。鎌倉の大仏さんも定印。

このように様々な印相がありますが、浄土真宗のご本尊であります『阿弥陀如来』(立像)「右ページの写真参照」は、『来迎印』と又『摂取不捨印』と言う印相です。これは阿弥陀如来特有の印相とされ、臨終の際、阿弥陀仏が西方極楽浄土より迎えに来る時のポーズとされています。しかし、浄土真宗では、来迎とは言いません。人々を摂め取って決して捨てないという阿弥陀仏の慈悲の心を表わすお姿↓"摂取不捨印"と言います。親鸞聖人は末燈鈔の中で『臨終まつことなし 来迎たのむことなし』というお言葉をのこされています。自分の都合で臨終をまったり、自分の思いで来迎をたのんだり…それはどの人も間に合いませんよ!ということでしょう。ご法事や葬儀の時によく拝読される「白骨のお文」の一節、「朝には紅顔あって、夕べには白骨となれる身なり」の通りです。大切なのは"今"というところに立って生きることを見失わないことではないでしょうか…。

繹了吾の八女日記

皆さん、こんにちは。こちらは福岡県八女市でございます。季節外れの大雨に次ぐ大雨のお盆が終わり、稲穂が微かに色づく時期になってまいりました。いかがお過ごしでしょうか。依然として緊急事態宣言の発出される状況の中、大変な毎日をお過ごしのことと思います。福岡県も、東京都など関東圏に遅れて緊急事態宣言発出対象となり、しばらくどこにも行けない毎日を過ごしております。しかしながら、人間慣れというのは恐ろしく、飲食店や娯楽施設などに行かない日々が当たり前になってしまいました。皆さまはどうでしょうか？ 私は、朝と夕は家で自炊をしておるものですから、八女に暮らし始めてから一年半、すっかり外食というものをしない生活様式になってしまったものでした。男の一人暮らしというものは、それはそれは自由氣ままで良いものですが、ふと氣を抜くと、どこまでも不健康になれるという、素晴らしい生活な訳です。適度に身を正しつつ、倒れないよう日々料理を作っています。また、あまり大々的に申すことではないように思われますが、しかしながら日記という形をとっている以上、話題の一つに挙げても差し支えないと思います。実は4月から、ダイエットを頑張っておりまして…頑張ると言っても食事改善と軽い運動で、だいたい**20キロ**ほど減量を致しました。**20キロ**と書くと、大層なことですが、しかし残念ながら元々の目方がありすぎましたので、少し厚みが減ったかな？ そのようなところにとどまっております。きっかけはコロナウイルスの感染が、八女市にもかなり入って来たということで、「これはいい加減痩せなければならんな」と、思い立ったことでした。身に迫る危険とでも申しましょうか、本来はコロナよりも心臓系疾患だとか、血管系疾患などを心配すべきところなのでしょうけれども、なかなかそれら潜在的なものよりは見えやすい〝コロナ〟によって、ようやくダイエットの発心を致したところです。東京にいる際に、お会いをした方であれば、私がどのような体型かは、おそらくご存知であろうと思いますが、よくご門

徒の方からも「痩せなさい」と、有り難い言葉をいただいておりました。しかし、自分が本当に身に染みて思わない限り、そういう有り難い言葉は響いて来ないのだなと思います。これはお念仏にも通じる事柄なのかもしれません。また、私と同じ様にダイエットをしたいと思われている方がいらっしゃいましたら、大変僭越ではございますが、ぜひ「あすけん」というアプリで食事の記録をつけることをお勧めいたします。基本無料のアプリで、食べた料理や材料を記録するだけで、カロリーはもちろん、タンパク質・脂質・炭水化物のバランスを表示してくれたりする、きわめて有用なアプリになります。次の食事は何にしようかなと、献立を考える際にも便利ですし、現代人は基本的に高カロリー・高脂質・高糖質の食事をしておりますから、それらを目に見える形で見るだけでも、「これは避けよう」というように思うことができます。コロナ禍で、室内にいることが多くなり、体重が増えたという方も多くおられるかと思います。ぜひご一緒に頑張りましょう。

また、私が法務員としてお勤めさせていただいております、明願寺の謝恩前住職が、去る8月26日に81年という尊い人生を全うされてお浄土に還っていかれました。私も毎日のようにお寺で顔を合わせ、お話をさせていただいたり、いろいろなことを教えていただいておりましたので、とても悲しいです。「新井さん、新井さん」と、よくお声をかけていただきましたし、通夜や葬儀にも毎回ご同行くださって、大変にお世話になりました。とても人望の厚いお人で、また音楽にも精通しておられました。コロナ下での厳しい状況ではありましたが、通夜葬儀（密葬という形でとりおこなわれました）には、多くの方がお参りくださいました。今はお寺に何かぽっかり穴が開いたような、そんな心地がしております。食事が喉を通らなくなって、検査したところ末期の肝臓癌と診断され、入院されてから一週間という早さでのご命終でした。入院される4日前の8月15日まで、お寺にて、お金のお勤めをされておりました。本当に素敵なお方でした。短い間ではありましたが、お育てをいただきまして、感謝の念に堪えません。有り難うございました。（住職代筆）

『報恩講についてのお知らせ』

2021年の高德寺報恩講は、10月23日(土)に予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない状況が続いており、熟考した結果、昨年に引き続き、誠に残念ではありますが『内勤め』(寺の者で勤める形)とさせて頂きます。

法話などの模様は、高德寺のホームページ経由での動画や、寺報の別冊にて発行させて頂く予定でおります。宜しくお願いいたします。

住職 拝

高德寺のホームページのQRコードです。ご覧頂けましたら幸甚です。

秋彼岸会

9月 20日(月)～26日(日)
（お中日は秋分の日の23日(木)）

新型コロナウイルスは、感染力の強い株へと変異を続けております。

- 誠に残念ではありますが、秋の彼岸会も門信徒の方々の感染リスクを考慮いたしまして、新井白石記念ホールの『お休み処』の開放を中止させて頂きます。ご了承ください。
- お参り（来寺）の際、マスクや帽子、サングラス等のご着用により、どなたか判別出来ない状況が予想されますので、（お施主様の）お住まいの地域とお名前をお伝えください。
  ※マスクや帽子は外さなくて結構です。
- お中日（9/23）の『高徳寺永代経法要』は、住職の内勤めとさせて頂きます。
- ご本尊（本堂）へのお参り（お焼香）は、本堂正面（外側）よりお願いいたします。

- 法事
- お墓
- お内仏（仏壇）
- その他

お問い合わせやご相談お受けしております。
寺へご連絡ください。

あとがき

◆度重なる緊急事態宣言の延長に伴い、耳にタコが出来る程聞かされている『不要不急の外出自粛』という言葉。

◆不要不急とは、重要でなくて急ぎでないこと。ではその反対の言葉は何だろうと思い、調べたが、直接の反対語は無いようで分解して考えてみた。不要の反対は必要。不急の反対は、火急とか緊急。なので不要不急の反対は〝必要火急〟（生活する上で必要、又は差し迫っている事情がある）とか、〝必要緊急〟（その事情が誰かの命に係わる）となる。

◆コロナを縁として〝？マーク〟が自分の上におりてきた。はたして自分にとって〝必要火急〟とか〝必要緊急〟なことっていったいどんなことなんだろう…？この問いを持ち続け、深めていきたいと思う。

釋義祐

okagesan96
発行日 2021.9.20
発行 真宗大谷派 高德寺
編集 住職 新井義雄
（法名 釋義祐）

〒164-0002 東京都中野区上高田1-2-9
☎ 03-3368-6947 FAX 03-3362-8019